

第9回 大和北道路地下水モニタリング検討委員会
議事概要

1 日 時 令和7年2月25日（火）14：00～15：30

2 場 所 近畿地方整備局 6階 会議室

3 出席者

委員長 京都大学名誉教授

大西 有三

公益財団法人 辰馬考古資料館 館長

上原 真人

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 副所長 谷口 真人

統合物性モデル技術研究組合 理事長

西垣 誠

株式会社三木地盤環境工学研究所 所長

三木 博史

（欠席委員）

独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 所長

本中 眞

（五十音順）

4 議 事

1）大和北道路地下水モニタリング検討委員会規約の改正について了承を得ました。

2）地下水モニタリング検討委員会のこれまでの経過と今後の進め方（資料－1）及び地下水位観測について（資料－2）の報告がありました。

・地下水モニタリングシステムとリスク低減計画に沿って地下水観測を継続する。

3）平城宮跡の地下水涵養対策について（資料－3）に対する説明が以下の通りありました。

（1）対策条件の整理

・涵養対策を検討する基礎資料として、地形・地質・地下水の条件、既存水路の系統・形態・水量等の状況を資料調査や現地調査によって整理した。

（2）平城宮跡の地下水環境の考察

・現況においても水路を流れる流水による涵養効果で平城宮跡の地下水環境は良好なものに保たれているものと推定される。

（3）平城宮跡の地下水涵養対策の方法

・既存水路の底面に堆積している粘性土を清掃除去する方策が有効である。

→ 上記については、委員会において大枠で承認されました。

4）モニタリングシステム構築に向けた方針について（資料－4）に対する説明が以下の通りありました。

・管理箇所の新検証を行い第7回委員会の設定箇所に追加観測孔から2箇所を加えて8箇所の管理箇所を設定した。これら管理箇所には通信型水位計を設置して、常時、WEB ページから観測デ

ータの閲覧等ができる体制を構築した。

- ・ 工事中は地下水モニタリング結果や管理基準値の超過状況等を適宜検討委員会に報告・相談する体制とし、異常時においては委員会の意見・助言を踏まえ、必要に応じ、追加緊急対策や保全措置等を実施、モニタリング計画の見直し等を検討する。
- ・ 工事中の観測データは定期的に HP 上で公表し、情報共有・周知を図ることとする。

→ 上記については、委員会において大枠で承認されました。

5) 地下水モニタリングとリスク低減計画について（資料－5）に対する説明が以下の通りありました。

- ・ 第7回委員会でとりまとめた「大和北道路地下水モニタリングとリスク低減計画（案）」に第8回委員会・第9回委員会の検討内容を反映して更新しました。

→ 上記については、委員会において大枠で承認されました。

今後の工事スケジュールに合わせて、地下水モニタリングとリスク低減計画の「9. 工事着手時の対応事項」を実施する。

6) 今後は、地下水モニタリングシステムとリスク低減計画に従って、地下水観測を継続し、関係機関協議を進めて平城宮跡の涵養対策を実施して、トンネル工事の開始に備える。

また、トンネル工事開始後は、管理基準値を設定した管理箇所での常時モニタリングによって工事影響を監視し、適宜、検討委員会に報告しながら事業を進める。

以 上